

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2023年4月28日
第8号

バスケットボール部 好発進

小樽地区春季で優勝

4月22日、23日、小樽地区春季バスケットボール選手権大会が小樽市総合体育館と小樽明峰高校で開催された。本校は倶知安を100対30で、決勝戦では小樽潮陵を98対40で下し、優勝した。高体連を前に、幸先の良いスタートを切った。キャプテンの岸野未悠さんに試合を振り返ってもらった。



前列右から2人目が岸野未悠さん、後列左端が監督の山田先生。

- (スターメン)
- 1番 長 凜華 (2-1-2)
 - 2番 和田鈴菜 (3-1-3)
 - 3番 菊地紗那 (2-1-2)
 - 4番 岸野未悠 (3-1-3)
 - 5番 早川茜里 (2-1-3)

試合の入りを意識

「倶知安戦は試合の入りはよくなかったが、挽回してチームみんながシュートを決め、良い試合になった。」

「小樽潮陵戦は倶知安戦の反省を生かし、試合の入りも良くなり、試合内容も結果も満足できるものになった。」

戦術明確に

「相手がどんな相手でもチームがやるべきことをやらなければならぬ。たとえば、ディフェンスのときのオフボールのところを簡単にやられるのではなく、パンプをしたり、激しいディフェンスをすること。オフエンスのリバウンドは最低でも3枚入る。ディフェンスのリバウンドはそれぞれがヒットしてボールに飛びつく、ということです。」

普段から本番と同じ気持ちで

チームの目標は全道でベスト8入りすること。「日々の練習から本番と同じ気持ちで臨むこと。先輩、後輩関係なく、互いに指摘し合い切磋琢磨することを意識している」と岸野さん。高い目標に向かって挑戦が続く。

三つ子の家庭に温かく迎えられ

2-1-1 井浦杏咲

ホストファミリーは三つ子と弟の4人の子どもがいる6人家族で明るく賑やか、温かく迎えてくれた。毎晩のように家族でカードゲームで盛り上がり、スキーに行ったりもした。



印象に残っているのは、高校の授業風景の違いだ。アメリカの高校は自由度が高く、勝手に教室から出て行く生徒もいた。数学や理科はプリントが出され、自分で考えて解き、わからないときは先生に聞いていた。よく高校生で集まって遊んだが、アメリカではダンスゲームが流行っているみたいだった。留学の際は積極性を持つことが大切だと思った。言葉が通じなくても雰囲気を感じ、ジェスチャーでわかり合えると感じた。

米国ホームステイ 語学研修報告 (5)

赤松さんと共に同じ家庭にホームステイしたが、三つ子の女の子リジーがホストチューデントだった。→



ホストファミリーからのプレゼントはパーカー、メイプルシロップ、ボードゲーム、ぬいぐるみだった。



家庭料理。キッシュやデザートが美味しかった。

